

# 城陽市障がい者自立支援協議会

## 第 17 回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 聴覚障害者生活支援センター は一もにい 長山 綾

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 25(2013)年 9 月 25 日 午前 10 時～12 時
場 所	城陽市役所 第 6 会議室
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所 は一もにい 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル 城陽ろうあ協会・城陽市難聴者協会
検討課題	1. 災害時の情報について 2. 親子手話教室の振り返り 3. 防災マニュアルについて

### 【議事録】

1. 災害時の情報について  
過日、台風が発生した際に、携帯電話へのエリアメールや緊急情報等の受信に格差が生じた。情報が届かなかった当事者より、「自分の地域がどのような事態になっているのか把握することができず、非常に不安であった」との声があった。今後、災害等の緊急時にどの様に支援を行うのか検討を重ねると共に、防災マップを早急に完成させ、当事者が在住している地域に配布し協力の要請を行っていききたい。
2. 親子手話教室について
  - (1) 9組 12名の親子にご参加頂いた。
  - (2) 呼びかけ方法について、広報や新聞のみの呼びかけでは不十分であった。早くから手分けをしてビラを配布するなどの工夫が必要である。
  - (3) 来年度は早めに学校や幼稚園へ情報を掲示できるように、教育委員会へも働きかける。
  - (4) 夏休み期間中の平日に開催したが、土日の方が家族一緒に参加しやすいと感じる。
  - (5) 来年度は市が開催している手話教室の前に実施するなど、他の関係行事とのタイアップも検討し、たくさんの親子が参加できる条件整理を行っていききたい。
3. 防災マニュアルについて
  - (1) 次回の部会で印刷部数と配布方法の確認を行う。
  - (2) 自立支援協議会のホームページからダウンロードできるようにしたい。